

理事長挨拶

近年は、一年を振り返る余裕がないほどのスピードで世の中が変化している感じですが。

さて、昨年8月から「シミズの風」新聞を発刊し今月号でやっと5号目となりました。シミズ病院グループ内における情報をタイムリーに地域の医院やクリニック等の関係者の皆様に周知して頂くことを目的としてスタートしましたが、少しはお役に立っているでしょうか？

今年も風通しの良さをモットーに努力する所存ですので宜しくお願い致します。

シミズ病院 新任医師の紹介

平成24年12月1日よりシミズ病院にてお世話になっております。

主に脳血管内治療チームの一員として診療に従事し、またシミズ病院グループの一員として少しでも地域医療に貢献できればと考えております。宜しくお願いいたします。



高橋医師(常勤)プロフィール

たかはし けんきち

高橋 賢吉 医師

平成15年卒

専門分野:脳神経外科

認定・専門:医学博士

日本脳神経外科学会専門医

日本脳卒中学会専門医

担当外来:毎週水曜日

脳神経外科3診

医療機器の紹介 理事長クリップ

<理事長クリップとは>

MCA動脈瘤(中大脳動脈瘤)をクリップしやすくするために、清水理事長先生が試行錯誤の上、開発された特徴的なクリップです。エースクラブ社の協力の下、現在も当院で活躍しています。Neckが広いだけでなくNeckが半周にわたる動脈瘤にも対応でき、当時の学会などで注目されました。ただし、このクリップを使用するには、かなりのリスクを伴うため相当な医師の技量が必要となり、当時の使用数は少なかったようです。

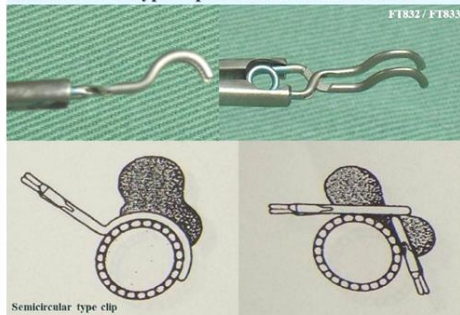
また、理事長が京大同門会で発表したところ、現・神戸中央市民病院 理事長 菊池晴彦先生より、「いいクリップを考案したな」とお褒めを頂いた、とのことでした。

(プチ情報)

「特許申請をしてはどうかと勧められ申請したが、特許による報酬はなく、忙しく手続きがいろいろ面倒だったので、中止した。メーカーから開発費として30万円の報酬があり留学中のチューリッヒの東京銀行に振込みがあった。数年後にそのお金でスイスで時計を買った」というエピソードを理事長先生は、にこやかに語ってくださいました。



【Semicircular type clip/半円形型“S”型クリップ】



シミズ四条大宮クリニック 健診センター AICS検査開始

～京都府下で唯一の医療機関としてAICS検査開始(2012年12月現在)～

AICS検査(アミノインデックスがんリスク・スクリーニング)とは血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人と「がん」である人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析して、「がん」であるリスク(可能性)を予測する検査です。

このリスクとは、確率・可能性・危険性などと呼ばれているもので、「がん」であるか否かをはっきりと判断するものではありません。

対象となる「がん種」は、「胃がん」・「肺がん」・「大腸がん」・「前立腺がん」・「乳・子宮がん」です。わずか5ccの採血で一度に複数のがんを同時に測定でき、早期がんにも対応しています。

AICS検査は、それぞれの「がん」について「がん」である確率を0.0～10.0の数値で報告します。リスクの傾向は数値が高いほど、がんである確率が高くなります。

また、このAICS値からリスクを判断する目安として、「ランクA」、「ランクB」、「ランクC」に分類され、がんであるリスクの傾向が3段階で示されます。

ランク分類	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0

低い ← がんであるリスク → 高い

一般の方が「がん」である確率は、統計的に約1/1000(1000人に1人)といわれています。

AICS検査における、ランク別の「がん」であるおおよその確率は以下の通りです。

ランク分類	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0
胃がん	1/3,200[0.3倍]	1/625[1.6倍]	1/98[10.2倍]
肺がん	1/2,963[0.3倍]	1/536[1.9倍]	1/111[9.0倍]
大腸がん	1/2,000[0.5倍]	1/789[1.3倍]	1/122[8.2倍]
前立腺がん	1/2,222[0.5倍]	1/469[2.1倍]	1/156[6.4倍]
乳がん	1/1,509[0.7倍]	1/556[1.8倍]	1/250[4.0倍]
子宮がん・卵巣がん	1/4,000[0.3倍]	1/682[1.5倍]	1/86[11.6倍]

【 】:一般の方ががんであるリスクを1とした場合の、がんであるリスクの倍率

検査料金については、保険診療扱いではありませんので、当院では18,900円(税込)の自費診療扱いとなります。

関東や東北地方では多くの公的医療機関で既に実施されており、新聞・雑誌等にもその詳細が掲載されています。

当健診センターでは、受診者の要望によりAICS検査を実施しており、ドック受診のきっかけの一助になればと考えております。



アミノインデックスによるがんリスクスクリーニング

